

会 議 録

会議の名称	第2回 西東京市立けやき小学校シックスクール対策委員会
開催日時	平成15年10月4日（土） 午後3時30分から5時00分まで
開催場所	新けやき小学校ランチルーム
出席者	（委員）小峯委員長、松浦副委員長、湯川委員、梅田委員、高梨委員、川副委員、多々良委員、野崎委員、田口委員、安藤委員、相原委員 （事務局）二谷課長、神田主幹、白井係長、田中主査、砂押係長、福田主査、守矢主事
議 題	（1）室内環境測定の結果について （2）ランチルームの備品について （3）育成室の内装施工について （4）その他
会議資料	・（資料6）空気環境測定結果 ・（資料7）ランチルーム搬入備品類資料 ・（資料8）育成室の内装施工会社一覧表 ・（資料9）育成室の断面詳細図
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
事務局	発言内容 開会宣言 議題の説明 資料を元に議論をお願いしたい。
委員長	空気環境測定結果について、事務局より報告願いたい。
事務局	室内環境測定は、16ヶ所にて測定を行い、1階ランチルームについては、8月10日に測定した結果、トルエンが指針値の1.91倍検出されたが、9月20日に再度測定した結果、指針値を大きく下回った。 1階育成室については、8月10日に測定した結果、トルエンが指針値を上回ったが、9月20日に再度測定した結果、指針値を大きく下回った。 3階普通教室については、7月27日に測定を行ったところ、トルエンが指針値を上回り、7月31日に急遽測定を行い、指針値を下回ってはいるが、指針値に近い値を示したが、8月10日、9月20日に測定を行ったところ、トルエンの数値が大幅に下回っていった。
委員長	約1ヶ月、換気を行ったことによって、トルエン等の値が下がってきたが、7月27日に測定を行った時は、機械換気設備を運転した状態で測定を行っており、8月10日に測定を行った時は、機械換気設備を運転していない状態で測定を行っていた。7月4日付の文部科学省の通達に、最も危険側の状態で測定をし

	<p>なさいという通達があり、8月10日の2回目の測定から、機械換気設備を運転せず、窓を閉め切った状態で測定を行っており、危険側の状態で、値が下がってきているということは、結果だけを見ると、非常に望ましい結果である。</p> <p>この委員会の目的は、測定値が下がればよいというものではなく、原因を解明し、これから教育委員会が実施する新築・改修工事の際に、現在の問題の二の舞を踏まないようにするためである。</p> <p>前回の委員会にて、備品について、メーカーにどういう放散があるのかを問い合わせさせていただきたいと教育委員会に依頼した資料が資料7である。</p> <p>3階普通教室について、7月27日の測定値より、2回目の数値が危険側の状態で測定しているのに下がっているのはなぜか。</p>
事務局	3階バルコニーが、塗装工事後に雨に当たり、表面にムラが生じたことから、ダメ工事を行った。
委員長	3階普通教室(3)と 3階普通教室(6)は向きがちがうのか。
事務局	向きは同じであるが、塗装工事の施工時期がずれている。
委員長	南側より風が入ってきたということか。
事務局	測定時に、30分間窓を開けるので、その時に入ってきたと思われる。
委員	職人などが出入りするのでは、その時に入ってきたのではないか。
委員長	3階バルコニーにて、補修工事を行っていたのか。
事務局	そうである。
委員長	了解した。よって、3階の普通教室については説明がつくので、原因を突き止める必要はないとおもうがどうか。
委員一同	よい。
委員長	次のステップとして、1階ランチルーム、1階育成室の原因を突き止めたい。資料7のランチルーム搬入備品類資料の説明願いたい。
事務局	椅子については、メーカーより、木質系、塗料・接着剤について放散の調査結果が出ており、木質系については、F を使用し、放散はほとんどない。塗料・接着剤については、MSDS(製品安全データシート)で指定物質がないことを確認しているという報告を受けている。
	机のメーカーについては、当社独自の測定資料はないということであった。
委員長	机については、資料7の23、26ページを見るとわかるように、トルエンは使用されていないことがわかる。よって、ランチルームの原因は備品ではないことがわかる。
	事務局として、他に考えられることはないか。

事務局	給食室の床の仕上げを行った際に、ランチルームに物質が流れてきたのではないかとおもわれる。
委員長	給食室とランチルームの間に扉があるが、測定の時は開いていたのか。
事務局	開いていた。
委員長	前回の委員会資料4をみていただいてもわかるが、ランチルームについてはトルエンは使用されていない。資料4の1ページを見ると、給食室の塗り床の所を見ていただくとわかるが、床が滑らないように塗り床工事を行うが、この中の材料に、トルエン、キシレンが使用されていることがわかる。塗り床というのは、下地塗りと上塗りがあり、下地塗りが乾かないうちに上塗りをしてしまうと下地塗りで使用したトルエン、キシレンが閉じ込められてしまい、後からゆっくりと出てくることになってしまう。
委員	9月20日の測定は、給食室とランチルームの扉は開いていたのか。
事務局	開いていた。
委員長	トルエン、キシレンは、上の層であれば、1週間ぐらいできれいに落ちるが、閉じ込められると1ヶ月単位で放散されたことが推測される。原因究明については、下地塗り、上塗りの工程の確認をし、万一、短い期間で上塗りをしていれば、これが原因のひとつである。この確認を施工業者に確認をとっていただきたい。 また、職人が材料を薄めるときに、シンナーを使用する場合があるが、シンナーにもトルエン、キシレンが入っているため、MSDSに記載している量よりもさらに多いトルエン、キシレンが使用され、放散量も増える可能性があるため、これについても施工業者に確認していただきたい。 備品については、これ以上の調査は必要ないとおもうがどうか。
委員一同	必要ない。
事務局	下地塗り、上塗りの工程の確認、シンナーの使用の確認をしたい。
委員長	次に育成室についてであるが、事務局より資料説明願いたい。
事務局	資料8、9について、説明したい。資料8については、内装施工会社の一覧表であり、資料9については、断面詳細図である。
委員長	資料8にE Pとあるが、これを他の委員に説明願いたい。
事務局	エマジョイントペイントの略であり、E P塗りは、刷毛で仕上げるものである。
委員長	E P塗りについては、水性であるため、トルエンが出てくる可能性がないということか。

事務局	そうである。
委員長	資料6の3、4ページを見ていただくと、育成室の上部トップライトの部分は、2階部分ではバルコニーになっており、バルコニーは雨に濡れる部分であるため、給食室と同じように防水工事を行うため、トルエン、キシレンが入っている可能性があり、事務局に断面詳細図を資料として依頼した。 断面図を見るとわかるように、アスファルト防水にはトルエン、キシレンは入っていないが、ウレタン塗床には含まれているが、アスファルト防水を行っているので、ウレタン塗床に含まれているトルエン、キシレンが下の育成室に染みってくる可能性はない。では何が原因なのかというと、育成室の収納棚があるが、化粧合板で出来ている。ビニールのコーティングをする際に使用される接着剤にトルエン、キシレンが含有されており、また、プリントする際にもトルエン、キシレンが使用されている。疑うとするならば、これしかないとおもうがどうか。
事務局	化粧合板の材料について、メーカーより取り寄せ、材質等早急に調査したい。
委員長	造り付けの家具は、建物を作る業者が一貫として請け負う場合と、後から家具屋が取り付けの場合があるが、けやき小学校の場合は前者である。 収納棚以外について、疑われるものはないか。
事務局	見当たらない。
委員長	収納棚についても、換気を十分に行えば、2ヶ月ほどで放散が少なくなるであろう。そうなれば、安全宣言を出せるであろう。
副委員長	施工業者への確認をお願いしたい。
委員	数値がまた上がっていくことはないのか。
委員長	実験室レベルの微量のものであれば糾合質はあり得るが、けやき小学校の濃度の上下をする糾合質は絶対にあり得ない。
委員	測定はもう行わないのか。
委員長	事務局とも相談しなくては行けないが、安全宣言を出す段階で、最終的な確認の意味で測定を行った方が、父兄の方々も安心されるのではないか。
事務局	数値が下がったから、終わりだとは考えていない。これからも何回か測定したい。
委員長	協議会としては、測定する必要はないとおもうが、最終的に、確認の意味でもう一度測定を行ってはどうか。
副委員長	何度も測定する必要はないが、ビル管理衛生法があり、安全確保をどうしていくかを教育委員会で検討していただきたい。

委員長	ホルムアルデヒドの数値も安定しており、環境としては安定していると言える。
委員	数値が下がってきているが、換気は続けた方がよいか。
委員長	ここまで下がれば、窓等も閉め切ってもよいのではないか。土ホコリ等で校舎内が汚れているので、掃除に取りかかった方がよいのではないか。掃除をする際、化学物質を使用する掃除は避けたい。 この委員会です承が得られれば、窓を閉め、掃除に取りかかったらどうか。
副委員長	よいのではないか。
委員長	気温も下がってきているので、放散は抑制される方向になっていき、これから放散が増えることはないが。
委員	来年の今頃に測定しても、値は低いのか。
委員長	トルエンに関しては問題ないが、ホルムアルデヒドについては、放散が増える可能性はあるので、開校後、もう一度教育委員会が測定することになっている。
委員	開校前後どちらかもう一度、測定することをお約束していただきたい。
事務局	もう一度測定したい。
委員長	では、校舎内を見学しながらご説明したい。 (校舎内見学)
委員	委員会の傍聴について、インターネットに掲載するだけでなく、父兄については、お便りでもいただきたいのだが。
事務局	市報等でお知らせしているが、父兄の方々にはお便り等で早めにお知らせしたい。
委員長	学校だより等はないのか。
委員	本日は、連絡網で連絡し呼びかけた。
委員	学校だよりは月1回発行なので、対応が難しい。
事務局	事務局の方で考えてみたい。
委員長	これにて、第2回けやき小学校シックスクール対策委員会を終了する。